

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 令和4年 10月 8日

事業所名： 発達みかんの木あそびの森

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・ 体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	8	2	0		28	0	0	2	広くて良い。	
	2 職員の適切な配置	7	3	1	送迎にでてしまうとスタッフの人数が少ない時がある 児童のキャンセルが重なると、スタッフの人数が多くなってしまう場合がある 配置図に顔写真を貼り、スタッフのエリアの配置がわかるようにしている	29	2	0	2	人によって専門性が違うと思う。	決められた人員数は配置されているが、送迎に出ている時は足りないように感じる。適切な人員配置に努めていきたい。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	4	3	4	段差やマットのズレがありバリアフリーとは言いにくい。	31	0	0		エリアによって分かれていて、活動しやすい わかりやすい	ジョイントマットの点検や修繕等をしてズレを少なくする。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	9	2	0	活動後、清掃と消毒を行っている。 送迎車も使用後に消毒をしたり、定期的に洗車を行っている。 意思疎通のためのカードなど視覚的な配慮を行うことが出来ている。 カームエリア(一人テントなど)が無いため、あるといいと思う。	30	0	0	0		
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	11	1	0	随時情報共有を行っている。また、毎日ミーティングを行い、前日の振り返りや情報共有・改善策を考えるなどが出来ている。 目標設定はできていない。						日々のワークの振り返りと、月に一度事業所内で支援会議を行っている。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	4	4	3	コロナ禍ということもあり外部評価は行うことができていない。						外部評価は行うことができていないが、系列の事業所へ相談し、助言を受けている。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	5	3	1	常勤職員はZOOMにて研修を受けているが、非常勤職員はできていない。						運営部から研修の案内が送られてきている。ZOOMでの研修が増えており昨年よりは参加することができた。 非常勤職員については研修報告書を用いて情報共有をしている。
適切	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	7	3	1	内容まで把握できていない。また、プランの作成をしない職員は理解できていない。 なかなか話せない保護者の方や利用が少ない児童もいるため難しいことがある。	31	1	0	0	保護者からの聞き取りが少ないように感じる	保護者の意見を取り入れつつ行っている。 保護者とコミュニケーションを取れるように心がける。 各スタッフへ計画内容やプロセスを周知する。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
多 な 支 援 の 提 供	2	8	2	1	内容まで把握できていない。また、プランの作成をしない職員は理解できていない。 具体的な支援項目の設定が提示できていない時がある。	31	1	0	0	初回はあったがその後のすり合わせはない	都度の説明を今後心がけていく。
	3	9	3	0							

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標			
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見		
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	8	2	1	計画書をもとに、日々のスケジュールやワークを取り入れているが、全員が把握しているかはわからない。話し合い等で周知しているが、適切な支援が難しいこともある。	31	0	0	0	初回はあったがその後のすり合わせはない	より細やかな支援ができるよう、保護者の方とのすり合わせを今後もっと行っていきたい。 職員間で声を掛け合い、より良い支援が出来るようにしていきたい。	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	10	1	0	職員間で意見を出し合って、活動内容を決めることが出来ている。							
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	9	2	0	職員間で意見を出し合って、活動予定を作成している。計画を立てる人が、固定化しないように代わっている。イベントについては内容が固定化されないように、季節のイベントを入れたり、系列の事業所に聞いて取り入れたりしているが、日々のスケジュールがマンネリ化しているように感じる。	31	0	0	1	色々活動内容を変えてもらっている	その時の困り感や保護者のニーズ等に応じて、担当スタッフが内容を変えて行っている。	
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	11	0	0	平日・休日・長期休暇に応じて、イベント・スケジュールの立案を行っている。							
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	11	0	0	毎日ミーティングを行っている。 必要に応じてグループLINEで共有をしている。							
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	5	6	0	次の日の支援前のミーティングで振り返りを行っている。グループLINE等を活用して行っているが、出勤時間に差があるため全員が揃って話し合いを行うことが難しい。							
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	11	0	0	写真や動画にも残しており日々の記録は取れている。スケジュールに対し、関わったスタッフが支援書に記入し、写真や動画を送り合い共有している。							
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6	4	0	モニタリングが出来ている児童とできていない児童がいる。							
	関係機関	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	10	1	0	児童発達管理責任者や管理者がサービス担当者会に参加している。						

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
との連携	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施				該当なし						
関係機関との連携(続き)	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備				該当なし						
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間の支援内容等の十分な情報共有	6	4	0	行えている所と行えていない所がある。						
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	7	3	1	十分とはいえない。						
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	5	4	1	担当者会・モニタリングの場で意見を頂くことがある。						
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	2	6	3	交流の機会を設けていないため、一緒に活動はできていない。	4	5	19	4		
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	1	3	7	行うことができていない。						
保護者への説明責任	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	9	1	0	契約時に行っている。	29	0	0	4	支援計画の細かな説明はなかったように思う。	利用契約時に行っている。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	8	3	0	行っているが、十分とは言えない。	28	3	1	0	初回はあったがその後はない	都度の説明を今後心がけていく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標					
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見				
連携支援	3				保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	2	4	5	行うことができていない。	8	3	16	4	定期的にもあるが、利用の度に気になる所は相談できている。	日常における子育てでの困りごとなどの相談があった時には、アイデア等を伝えさせてもらっている。
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4				子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	11	0	0	送迎時や電話・LINE等で情報共有を行っている。					ノートにその日の状況が書かれているため分かりやすい。	ノート・LINE等で伝えるようにはしているが、伝達不足になっていることもあるので、更にまめに伝えていくように意識したい。
	5				保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	10	1	0	相談があった時は話を聞き、解決や助言まで対応できていると思う。 送迎時や電話、LINEで相談を受けている。						日常における子育てでの困りごとなどの相談があった時には、アイデア等を伝えさせてもらっている。
	6				父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	0	4	7	実施したいと思っているが、コロナウイルス流行中のため実施できていない。	3	5	18	6	必要性を感じない 特に求めているはない	以前は勉強会開催時に保護者同士の交流をもてる時間があったが、コロナウイルスの影響等もあり現在勉強会の予定が未定となっている。 実施したい気持ちはある。
	7				子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	10	1	0	報告が遅れることがある。 職員から聞いた時点で、電話等で伝えるようにしている。	28	2	0	2		スタッフ間で随時情報共有を行い、迅速で丁寧な対応ができるようにしていく。
	8				障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	10	1	0	絵カードやコミュニケーションカードなどを適切なところに配置している。個別のスケジュールにも必要なコミュニケーションカードを貼っている。	31	2	0	0	LINEを使っている情報伝達は大変便利で使いやすい。	LINE・電話等を活用し、迅速に情報を伝達できるようにしていく。
	9				定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	7	1	2	会報は発行していないが、毎月イベント表を配布したり、Instagramに掲載したりしている。	26	2	1	2	LINEお知らせはあるが、会報やホームページはない。 必要なことはすぐ連絡してくれる。	Instagramで活動報告の発信を行っている。また、個別のLINEで写真や動画を保護者へ送っており、活動の様子をお伝えしている。自己評価についてはホームページに掲載している。
	10				個人情報の取扱いに対する十分な対応	11	0	0	注意をしているが、出来ていない時がある。 取り扱いに気を付け、使用が必要な場合は同意書を書いていただき、使用している。	30	2	0	0		
非常時等	1				緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	11	0	0		28	3	0	1	コロナ対策はあるが、防犯マニュアルは分からない。	マニュアルはあるが周知はできていないところもあるため、周知に努める。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
母の 対応	2	11	0	0	年に数回、避難訓練・消火訓練を行っている。	29	1	0	2		年に数回避難・消火訓練を行っている。
非常時等 の対応 (続き)	3	6	4	0	今年度はまだ研修を受けていない。						今後は受ける研修内容も幅広く計画し、虐待に関する研修も行っていけるようにする。
	4	5	6	0	マニュアル等の確認はしたことがない。 説明は行っているが、計画書へ反映できていない。						
	5	7	4	0	医師の指示書があるか確認したことはないが、おやつ・食事イベントの際には気を付けている。						
	6	8	3	1	ヒヤリハットの作成・周知は出来ているが、事例集の作成はできていない。						